高等学校国語科学習指導案

広島県立教育センター 指導主事 古川 明徳

| 科目:古典探究

2 単元名:「推し」の思想家の紹介文を書こう一私の「推し」は〇子です―

3 教 材:諸子百家の文章(教科書掲載)、諸子百家に関する書籍等

4 単元観

本単元では、「古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること」([思考力、判断力、表現力等]A読むこと(I)力)及び「先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること」([知識及び技能](2)エ)を重点的に指導する目標として設定する。

上記の事項は、諸子百家に関する文章を読んで、思想家や思想の特徴、その思想から自分の考えを広げたり 深めたりしたことを紹介する文章を書く言語活動を通して指導する。

春秋戦国時代は、各国が生き残りをかけ、国の安定や富国強兵のための策を求めた時代である。こうした時代背景から、様々な思想家や思想が現れ、後に諸子百家と呼ばれるようになる。そして、儒家、道家、墨家、法家などが、その代表的なものとして挙げられ、多くの教科書に孔子、孟子、荀子、老子、荘子、墨子、韓非子らの文章が掲載されている。その思想は、人間とは何か、いかに生きるべきか、理想的な社会とはいかなるものか、という普遍的な問いに対する深い洞察がめぐらされている。これらの思想に触れることで、生徒は、人間、社会などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができると考えられるため、本単元の目標の達成に向けた学習にふさわしい教材であるといえる。

5 生徒観

生徒は、共通必履修科目「言語文化」等で、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する学習を行ってきた。また、古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する学習も行ってきている。しかし、訓読文を正確な書き下し文や、現代語訳にすることに注力することにとどまり、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、自分の考えを広げたり深めたりして考えを形成したり、先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解したりするところまでには至っていないという状況がある。

本単元では、「言語文化」で学習してきたことを想起させつつ、目標として掲げた資質・能力の育成に向けた指導を進めていく。

6 指導観

これまでの漢文の授業を振り返ると、指導者の選定した教材を基に全員で学習するという学習活動が多く、学習内容も本文を返り点や訓読のルールに従い書き下し文に直し、重要語や重要句法に注意しながら現代語訳し、内容を精査解釈することに注力することが多かったように感じる。そこで、本単元では、生徒自らが興味をもった思想家に関連する文章を読み、思想家や思想の特徴、その思想から自分の考えを広げたり深めたりしたことを紹介する文章を書く言語活動を学習課題として設定する。自身で思想家を選択し、その思想家に関する文章を読む学習活動であるため、生徒が意欲的に学習に取り組むことができると考えられる。

7 単元の目標

(I) 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の 意義と効用について理解を深めることができる。

[知識及び技能](2)エ

(2) 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

[思考力、判断力、表現力等]A(I)力

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

[学びに向かう力、人間性等]

8 単元で設定する言語活動

「「推し」の思想家の紹介文を書こう―私の「推し」は〇子です―」

関連: [思考力、判断力、表現力等] A(2) オ

9 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
先人のものの見方、感じ方、考え	「読むこと」において、古典の作品	古典に表れているものの見方、感
方に親しみ、自分のものの見方、	や文章などに表れているものの見	じ方、考え方を踏まえ、粘り強く人
感じ方、考え方を豊かにする読書	方、感じ方、考え方を踏まえ、人	間、社会、自然などに対する自分
の意義と効用について理解を深め	間、社会、自然などに対する自分	の考えを広げたり深めたりし、学
ている。	の考えを広げたり深めたりしてい	習課題に沿って「推し」の思想家
(2)エ	る 。	の紹介文を書こうとしている。
	A(I)カ	

10 単元の指導と評価の計画(全8単位時間想定)

	次	学習活動	指導上の留意点	知	思	主	評価規準・評価方法等
Ī	ı	〇 単元の目標や学習課題	・「「推し」の思想家の紹介文を				
		を確認し、学習の見通し	書こう―私の「推し」は〇子で				
		をもつ。	す―」という学習課題を示し、				

		諸子百家のなかで興味をもっ			
		た思想家や思想の特徴、その			
		思想から自分の考えを広げた			
		り深めたりしたことを紹介する			
		文章を書き、発表するという言			
		語活動のゴールを示す。			
	〇 現在「推し」ているもの	・「推し」ている理由や、「推し」			
	をグループで紹介する。	の存在によって自分の心や行			
		動に影響があったことなどを話			
		し合わせ、「推し」の思想家に			
		ついて、これから何を捉えたり			
		考えたりすればよいか見通しを			
		もたせる。			
	〇 諸子百家について知っ	・「言語文化」等で諸子百家に			
	ていることを学級全体で	ついて学習した内容などを想			
	共有する。	起させる。			
	〇 諸子百家の思想の概略	・教科書に文章が掲載されて			
	を「ワークシート」にまと	いる複数の諸子百家について、			
	める。	インターネットや国語便覧等を			
		活用させ、思想の特徴をつかま			
		せる。			
		・自分が興味をもつことができ			
		る思想家を見付けるための学			
		習活動であるため、あまり詳細			
		に調べすぎないようにさせる。			
	〇 興味をもった思想家を	・興味をもった思想家を理由を			
	「推し」の思想家として、	挙げながら説明させる。			
	ペアでなぜ「推し」の思				
	想家にしたのかを話し合				
	う。				
	〇 一次の学習を振り返り、	・「推し」の思想家と「推し」とし		♦	「記述の確認」
	「振り返りシート」に記入	た理由、今後の学習の見通し			粘り強く、自身の考えを
	する。	などを記入させる。			広げたり深めたりするた
					めに学習の見通しをもと
					うとしているかを確認す
					る。
2	〇 教科書に掲載されてい	・生徒の実態に応じて、書き下			
	る「推し」の思想家の文	し文や注釈、現代語訳を準備す			

			ı		
	章を書き下し文に直し、	ることも考えられる。また、指導			
	現代語訳して内容を捉え	者が教科書教材以外の文章を			
	る。	選定して示すことも考えられる。			
	〇「推し」の思想家の文章	・「推し」の思想家が物事をど			
	を読んで考えたことを「ワ	うのように捉えているか、それを			
	ークシート」にメモする。	自分の知見と照らし合わせ、共			
		感したり、疑問に思ったりしたこ			
		とをメモさせる。			
	〇 考えたことをペアで交流	・「推し」の思想家の思想に対			
	する。	する自分の考えがあるかを検			
		討させる。			
	〇 次々の学習の進め方等	・「推し」の思想家に関する文			
	を確認する。	章を自分で探して読んで、「推			
		し」の思想家や思想の特徴、そ			
		の思想から自分の考えを広げ			
		たり深めたりしたことを紹介す			
		る文章を書くことを確認する。			
		・必要に応じて、現代語訳が付			
		せられた書籍や、それぞれの思			
		想家に関する解説書等を指導			
		者が紹介することも考えられ			
		る。			
	〇 2次の学習を振り返り、	・2次の学習の振り返りととも		♦	「記述の確認」
	「振り返りシート」に記入	に、次々以降の学習活動の進			粘り強く、自身の考えを
	する。	め方等を記入させる。			広げたり深めたりするた
					めに学習の見通しをもと
					うとしているかを確認す
					る。
3	〇「推し」の思想家に関連	・インターネットや学校図書館			
	する文章等を読み、「推	の書籍等を活用して、「推し」の			
	し」の思想家や思想の特	思想家が書いた文章や「推し」			
	徴を理解する。	の思想家に関する解説書等を			
		読ませる。			
		・時代背景なども踏まえなが			
		ら、多角的に理解させる。			
	〇 ファンミーティングを開	・同じ思想家を「推し」にしてい			
	催する。	る生徒をグループにし、「推し」			
		にした理由を話し合わせる。			
<u> </u>		<u> </u>			

	〇 ファンミーティングで感	・「推し」にした理由の同じ視点				
	じたことを「ワークシート」					
	にメモする。	じたことなどをメモさせる。				
	O 3次の学習を振り返り、				•	「記述の確認」
	「振り返りシート」に記入	り、特に粘り強く試行錯誤した			•	粘り強く、試行錯誤し
	する。	ことや、重要であると考えた点				て、思想家や思想の特
	7 30	などを記入させる。				徴を捉え、自分の考えを
		なとを買べてとる。				広げたり深めたりしよう
						としているかを確認す
_	O [#1 08#20#A			_		3.
4	〇「推し」の思想家の紹介	・「推し」の思想家や思想の特		•		「記述の分析」
	文を書く。	徴、その思想から自分の考えを				どのような思想から、人
		広げたり深めたりしたことを紹				間、社会、自然などに対
		介する文章であることに留意さ				する自分の考えを広げ
		せる。				たり深めたりしたかを確
						認する。
	〇 グループで「推し」の思	・異なる思想家を「推し」として				
	想家の紹介文の発表を	いる生徒をグループにして発表				
	行い、相互で評価し合う。	させる。				
		・「推し」の思想家や思想の特				
		徴、その思想から自分の考えを				
		広げたり深めたりしたことを紹				
		介する内容になっているか、と				
		いう観点から評価させる。				
	〇 グループ発表で出た意	・加筆修正した箇所がわかるよ				
	見を基に、「推し」の思想	うにさせ、加筆修正の理由をコ				
	家の紹介文の見直しを行	メント機能等を使用して書かせ				
	う。	る。				
	〇 単元の学習を振り返り、	・読書の意義と効用について理	•			「記述の確認」
	「振り返りシート」に記入	解を深めるよう振り返りを促				先人のものの見方、感じ
	する。	す。				方、考え方に親しみ、自
						分のものの見方、感じ
						方、考え方を豊かにする
						読書の意義と効用につ
						いて理解を深めている。

II 第3次の「思考・判断・表現」の「概ね満足できる状況(B)」と判断するポイント 評価規準に照らし、次の2点で判断する。

ていきたいです。

愛について考えさせてくれた墨子を、私はこれからも「推し」として「推し」

- Oどのような思想から、考えを広げたり深めたりしたのかが述べられている。(②の記述)
- 〇人間、社会、自然などに対する考えをどのように広げたり深めたりしたかが述べられている。(③の記述)

「概ね満足できる状況(B)」と判断する例

①私の「推し」は、墨子です。

②私は、墨子の「兼愛」という思想に感銘を受けました。墨子は、

儒家の愛

た。 が、私は、墨子の「兼愛」という思想に共感できる部分が多くありました。 ④墨子の主張をきれいごとのように感じてしまう人もいるかもしれません だと主張するのです。私は、墨子によって愛について考えさせられました。 子は全ての人を、自分を愛するように平等に愛せ、それこそが本当の「愛」 あり、そうすればこの世は平和になる」という意味の言葉です。つまり、墨 ることその身を愛するがごとくならしめば、猶ほ不孝の者有るか」という言 を端的にあらわすものの一つに、「若し天下をして兼ねて相愛し、人を愛す が親疎の別を設ける差別的な愛であることを批判しました。「兼愛」思想 全ての人に思いやりの視点をもつことは大切なことだと改めて感じまし 解決にもつながるかもしれないと感じました。愛するまではできなくても、 人も自分を愛するように愛すという視点をもてば、地球規模の環境問題の るかもしれません。また、今を生きる人だけでなく、未来に生きるすべての 愛するようになれば、現在起こっている様々な問題も解決することができ も、墨子が述べているように、世界中の人が自分を愛するように全ての人を 国さえよければ、という発想に端を発していることが多くあります。もし っている様々な問題は、自分さえよければ、自分たちさえよければ、自分の ることは、簡単なことではないと思います。しかし、考えてみれば、現在起こ ました。墨子の思想を知った今でも、自分を愛するように全ての人を愛す 族のように、まして自分のように愛することなど絶対にできないと思ってい ③私の愛に対する考えは、どちらかというと儒家に近かったです。他人を家 葉があります。これは、「全ての人を自分を愛するように平等に愛すべきで